

赤門

企画展示

— 溶姫御殿から東京大学へ —

平成29年3月18日(土)～5月28日(日)

東京大学総合研究博物館 < 開館時間 > 10:00～17:00 (入場 16:30) < 入館料 > 無料



東京大学本郷キャンパスの大半は加賀百万石、前田家本郷邸跡地と重なっている。したがって、数々の加賀前田家ゆかりの歴史的遺構が本郷キャンパスの景観をいろどっている。中でも最も著名なのは旧加賀屋敷御守殿門、すなわち赤門であろう。2017年は本郷邸開設400年の節目の年にあたる。これを機に、赤門という国指定重要文化財が語る本郷邸の歴史を提示するのが本展である。

現在ある赤門は文政10年(1827)、徳川家斉の息女溶姫が前田家13代藩主、齊泰へ興入れするにあたって建立された。以来、190年、本郷邸の歴史の半分近くの間、赤門は、江戸の終焉から東京大学の創設、発展の歴史を見守ってきた。近年著しく進展した本郷キャンパス埋蔵文化財の発掘、歴史文書の集成、そして本学施設部記録の調査、それらの成果をあわせ、赤門の歴史にかかわる最新の研究成果を提示したい。

主な展示資料

肥前産染付大皿／東京大学埋蔵文化財調査室蔵

九谷産色絵小坏／東京大学埋蔵文化財調査室蔵

色絵角形段重／東京大学埋蔵文化財調査室蔵

婚礼道具：「黒塗松唐草御紋散拾式手箱」／(公財)前田育徳会蔵

婚礼道具：「黒塗松唐草御紋散御料紙硯」／(公財)前田育徳会蔵

溶姫筆画：「景德夫人親筆桜花野馬図」／(公財)前田育徳会蔵

溶姫細工品：「溶姫君御細工御袂提」／個人蔵

昭和34年赤門修繕時保存部材／東京大学埋蔵文化財調査室蔵

[ギャラリートーク]

3/25(土)、4/8(土)、4/22(土)、5/6(土) 16:00～17:00

関連行事1

[記念講演会]

— 赤門・溶姫を考える —

● 日時／4月15日(土) 13:00～16:30

● 場所／山上会館 大会議室 (東京大学本郷キャンパス)

● 講師／前田利祐 「赤門の建立と加賀藩上屋敷」
(前田家当主)

畑 尚子 「将軍家の一員としての溶姫」
(江戸東京博物館)

ウィリアム・コールドレイク 「門建築としての赤門」
(東京大学大学院情報学環)



九谷産色絵小坏



色絵角形段重



昭和34年赤門修繕時保存部材

関連行事2

[連続講座]

赤門 — 溶姫御殿から東京大学へ —

● 日時／全5回 土曜日 14:00～15:30

● 場所／ミュージズホール (東京大学本郷キャンパス 総合研究博物館 7F) 先着40名

1回 3/25 小松 愛子 「溶姫の引移り婚礼」
(東京大学埋蔵文化財調査室)

2回 4/8 堀内 秀樹 「加賀藩本郷邸の発掘調査と溶姫御殿」
(東京大学埋蔵文化財調査室)

3回 4/22 森下 有 「情報のひろがり空間の流れ：三次元スキャンデータのユーザビリティ」
(東京大学生産技術研究所)

4回 5/6 成瀬 晃司 「出土資料からみた奥女中の生活と赤門瓦」
(東京大学埋蔵文化財調査室)

5回 5/20 木下 直之 「赤門入門」
(東京大学大学院人文社会系研究科)

関連企画

[埋蔵文化財調査室 調査研究プロジェクト3]

江戸藩邸と国元・金沢の食生活 — 動物考古学の研究成果から —

● 日時／5月13日(土) 13:00～17:00

● 場所／中島薫一郎ホール (東京大学弥生キャンパス サイエンスフード棟1F)

● 特別講演／金子 浩昌 「近世江戸動物考古学研究事始め」
(東京国立博物館)

● 発表／畑山 智史 「溶姫の生きた19世紀・金沢の食生活」
(埼玉大学大学院文化科学研究科 博士課程後期)

納屋内高史 「出土動物遺存体から見た近世富山城下町の食生活」
(富山市教育委員会埋蔵文化財センター)

阿部 常樹 「加賀前田家江戸藩邸の食生活における国元の影響とその変遷」
(國學院大学学術資料センター)

[構内史跡見学]

溶姫御殿と育徳園 ※集合場所：赤門 (参加希望者は開始時間までに赤門に集合してください)

3月23日(木) 12:10～13:00 4月15日(土) 10:00～12:00

4月1日(土) 10:00～12:00 4月20日(木) 12:10～13:00

4月6日(木) 12:10～13:00 5月13日(土) 10:00～12:00

[交通案内]

東京大学本郷キャンパス

本郷三丁目駅(丸の内線)から徒歩8分

湯島または根津駅(千代田線)から徒歩8分

東大駅前(南北線)から徒歩1分

春日駅(三田線)から徒歩10分



お問い合わせ TEL.03-5452-5103 東京大学埋蔵文化財調査室